

記者会見資料
Aug. 11, 2009

マレーシアにおける 多結晶シリコン プロジェクトについて

株式会社 トクヤマ

製造能力

6,000トン／年

製造技術

ジーマンス法

用途

太陽電池向け

建設計画

2011年初頭より建設開始
2013年春より運転開始

主な建設会社

千代田化工建設株式会社

プラント建設費

約650億円

運営方法

マレーシアに100%子会社を設立し運営
(社名:TOKUYAMA MALAYSIA SDN. BHD.)

社 名 TOKUYAMA MALAYSIA SDN. BHD.

設 立 年 月 2009年8月

本 社 所 在 地 クチン(サラワク州の州都)

資 本 金 未定(当社100%出資予定)

代 表 者 未定

雇 用 人 数

操業開始時に約300名
現地採用は約280名

採 用 時 期

2010年より一部採用開始
2012年より本格的に採用開始

教 育 ・ 訓 練

製造のキーマンを徳山製造所にて
半年～2年間教育・訓練

販 売 開 始

2013年夏

販 売 先

既存・新規を含めグローバルに販売予定

売 上 高

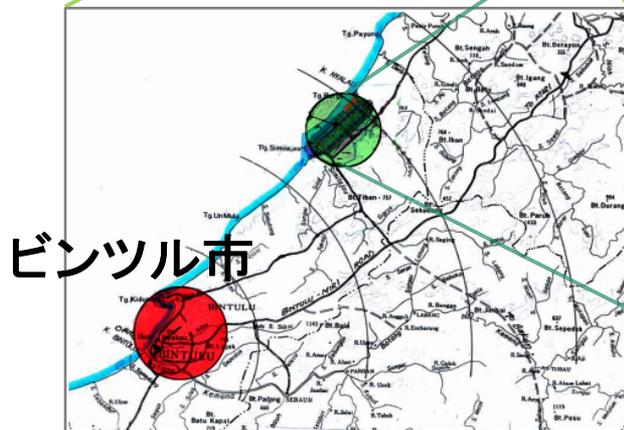
約350億円

● サマラジュ工業団地 (1) 場所



サマラジュ工業団地

建設予定地



ビンツル市の北東50kmに位置するサマラジュ工業団地に第2製造拠点として約200haの敷地を確保する予定

● サマラジュ工業団地（2）選定理由

必要な資源の確保が容易

豊富な水力発電による電力
工業用水
労働者の教育水準が高い



バクン・ダム

連邦政府・州政府の優遇策

税制面の優遇策
許認可における支援



昨年11月、現地会見の様子

● サマラジュ工業団地（3）現状と今後

土地

今夏より造成開始

電気（発電所）

バクン・ダムは計画通り2010年に完成、
2012年より送電開始予定
→プラント建設、試運転に支障はない見込み

道路

既設

港湾

ビンツル港（将来的にはサマラジュ港）



サマラジュ工業団地の建設予定地

100周年ビジョン

数値目標

売上高	5,000億円以上
売上高営業利益率	15%以上
海外売上高比率	30%以上 (2017年度)

基本戦略

『戦略的成長事業の強化』
『国際競争力強化』

※トクヤマは、2018年2月16日に創立100周年を迎える

多結晶シリコン事業の位置付け

『戦略的成長事業』の中核事業

数値目標達成のための主力エンジン

● 多結晶シリコン事業の基本戦略

積極的投資による事業拡大

品質・コスト・安定供給での競争力強化

VLD法の技術確立と事業化検討

多結晶シリコン業界での存在感維持(世界シェア10%以上)

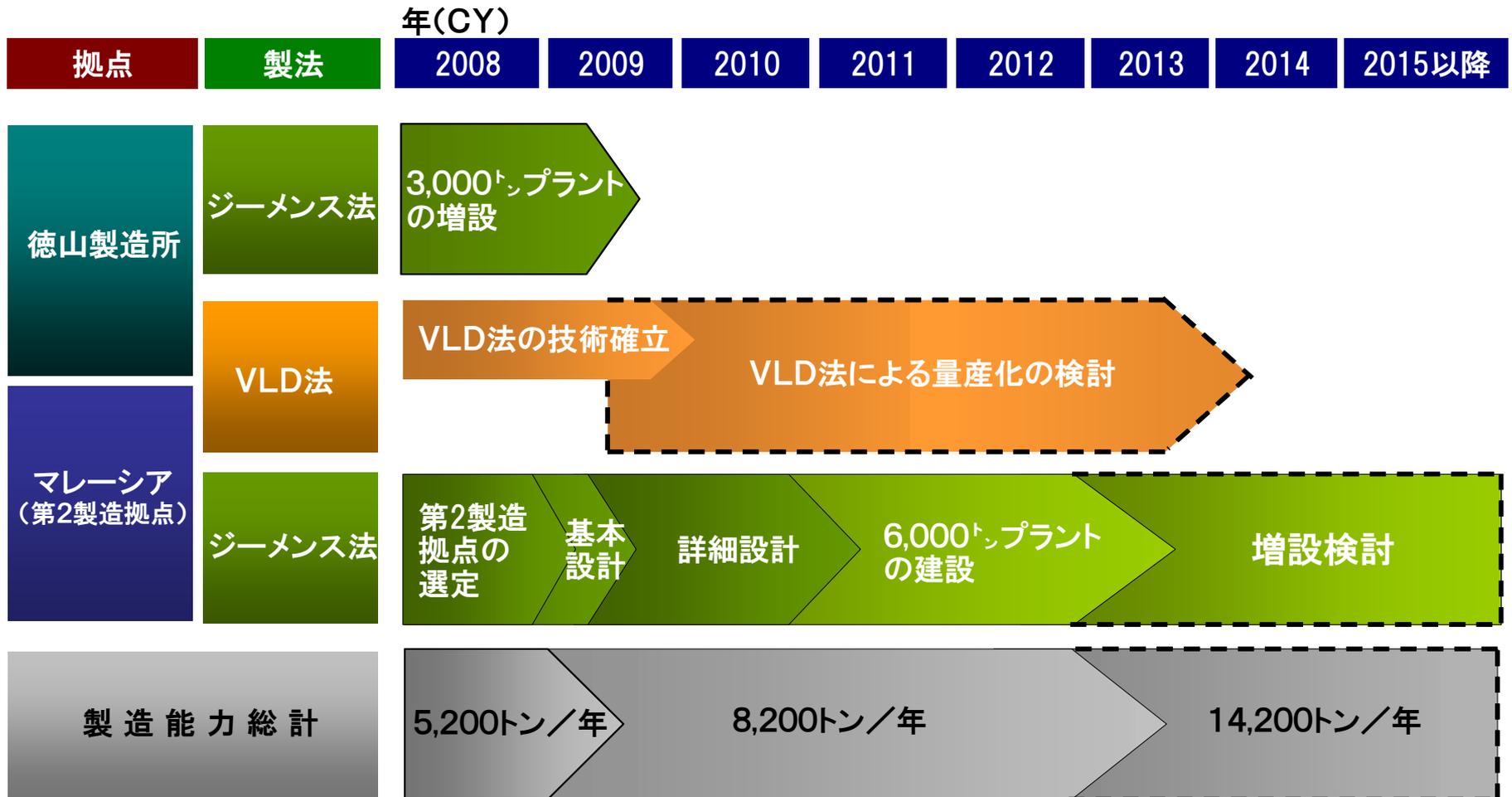


2009年4月、営業運転を開始した
3,000トンプラント(徳山製造所東工場)



VLD法の実証プラント
(徳山製造所東工場)

● 多結晶シリコン事業の展開





Chemistry with a heart

TOKUYAMA

